

# 編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-226	小学校	道徳	道徳	3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
光文208	道徳317	小学どうとく ゆたかな心 3年		

## 1 編修の基本方針

### ゆたかな心で 未来にはばたく

「人間の根源的な生きる喜び、人としてのよさに触れた時、  
感動が生まれる道徳の授業をつくる」

「一人でも多くの子どもたちを、ゆたかな心の学びの世界へ誘いたい」

私たちは、児童と教師が共によりよく生きたいと願い、真剣に考え学び合うための一助となる教科書を作りたい、その一心で編修にあたりました。本教科書では、教育基本法第2条に示された目標を踏まえ、「育てたい子どもの姿」と「編修の基本方針」を次のように設定しました。

### 育てたい子どもの姿

自分を見つめ、  
深く考える

人間のよさを追い求め、  
たくましく自分の生き方を  
考え続ける子ども

へこんでも  
立ち直る

物事を多面的・  
多角的に考える

自ら、  
問いをもつ

### 編修の基本方針

1

深く考えることができる教科書

2

答えが一つではない課題を考えることができる教科書

3

現代的な課題に向き合うことができる教科書

4

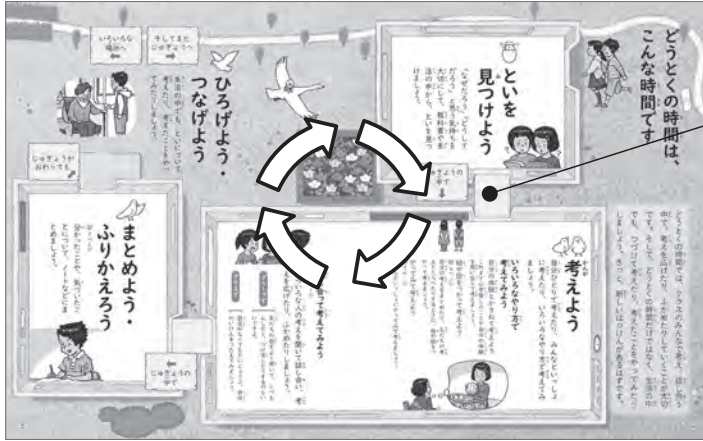
子どもたちが豊かな生活を送るパートナーとなる教科書

# 1 深く考えることができる教科書

学びの流れを視覚化し、児童自らが見通しをもって、主体的に学習に取り組むことができるようにしました。

## ① 学習の流れを明示

巻頭のオリエンテーションページで、道徳の1時間の授業の流れや学び方を明示しています。また、道徳での学習と日常生活とのつながりを図式化し、児童が主体的に学び、日常生活に生かすことができる授業となるよう工夫しました。



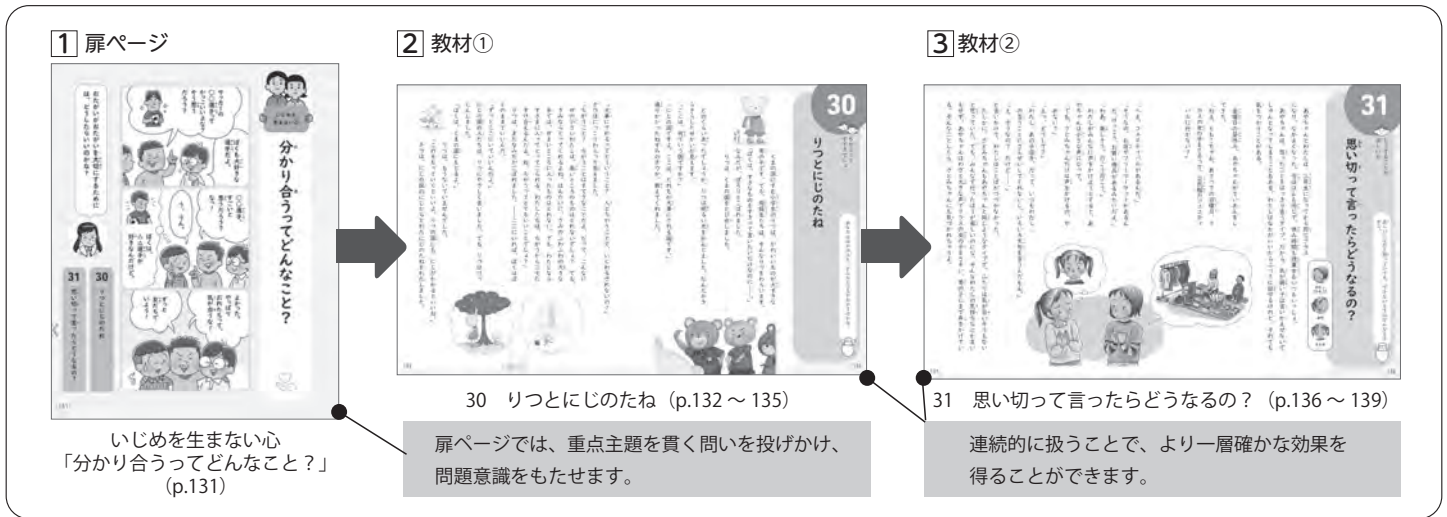
道徳の授業で考えたことを日常生活に生かし、さらに生活の中で生まれた問いをもって道徳の授業で考えるという流れを実現します。

どうとくの時間は、こんな時間です (p.4～5)

## ② 重点主題の設定

特に考えさせたい内容については、「重点主題」として複数時間構成としています。複数時間にするすることで、同じテーマを多角的な視点から考えたり、学びをさらに深めたりすることができます。各学年とも、次の3つのテーマを提案しています。

- いじめを生まない心【全学年】 「いじめ防止」といった課題について、発達段階を踏まえ6年間の見通しをもって取り組むことができます。
  - 命をかがやかせる【全学年】 「生命の尊さ」を軸に、命をかがやかせて生きる児童を育てます。
  - へこんでも立ち直る力【1・2年】
  - みんなで力を合わせて【3・4年】
  - 世界中のいろいろな人とつながるために【5・6年】
- 「人間」「人間関係」を主とした学年独自のテーマを設定しています。



扉ページでは、重点主題を貫く問いを投げかけ、問題意識をもたせます。

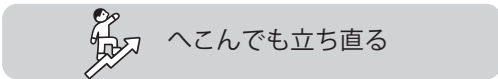
連続的に扱うことで、より一層確かな効果を得ることができます。

### ③ 体験的な活動の工夫

体験的な活動を通して、より深い学びが引き出せるようにしました。特に、豊かな人間関係を養い、自己肯定感を高め、くじけてしまうことがあっても立ち直ることができる児童の育成を目指し、全学年を通して次のコラムを設定しています。



実際の問題場面を想定した活動を通して、よりよい人間関係の構築につなげます。



児童が自身のもつ心の力に気づく活動を通して、生きる力を育みます。



へこんでも立ち直る『強み』を見つけよう (p.69)

## 2 答えが一つではない課題を考えることができる教科書

道徳での学びの広がりイメージできるように紙面構成を工夫し、考えを広げたり深めたりするためのさまざまな視点をもてるようにしました。

### ① 内容項目の可視化

巻頭のオリエンテーションページで、各内容項目を児童に理解しやすい表現で紹介するとともに、「自分⇒他者⇒社会⇒生命・自然」へと広がる4つの視点の相互の関連性と発展性をイメージしやすくしました。巻末の「内容項目別 教材一覧」には、主たる内容項目に加え、関連性のある内容項目も明示し、教師がさまざまな観点から授業のねらいに迫れるようにしています。

育てたい児童の姿を提示することで、児童自身が「なりたい自分」をイメージできるようにし、自己を見つめ、自分自身の答えを見つけられる児童の育成につなげています。

児童に寄り添うキャラクターを設定し、気づきや考えるためのポイントとなる問いかけを行うことで、多様な感じ方・考え方を実感できるようにしています。



ゆたかな心 (p.2～3)

### ② 考えるためのヒント

教材の最後には「かんがえよう」として、中心発問に加えて、視点が異なる発問を掲載しています。多面的・多角的に考えるためのヒントとして活用することができます。

## 3 現代的な課題に向き合うことができる教科書

「情報モラル」「いじめ」「持続可能な発展」については、これからの時代を生きていく児童自身の問題としてとらえられるように、特に重要な課題として、全学年で取り上げています。

## ① 情報社会を生きる

身近な話題を通して、情報モラルが学べる教材やコラムを全学年に配置しました。学校教育でのタブレット端末使用に伴い、タブレットの利用を前提としています。また、スマートフォンの利用については第1学年から取り扱うことで、より実社会に即した内容としています。



9 ヒントまであと少し (p.42～45)

じょうほうモラル「インターネットのじょうほうはかならず正しいの？」 (p.46～47)

教材とコラムをつなげて扱うことで学習効果が高まります。

## ② いじめを生まない心

いじめの防止や安全の確保といった課題については、「重点主題」として設定しています。また、各内容項目の教材において、他者のよさを認める心、差別や偏見をもたずに分け隔てなく接する心を扱った教材を通して、「いじめを生まない心」を育むことができるように配慮しています。

## ③ みんなでつくる「わたしたちの未来」

持続可能な発展をめぐる課題については、全学年にコラムを設定し、SDGsの17の目標の紹介とともに、発達段階を考慮しながら道徳の学習内容に関連した目標を取り上げています。児童一人ひとりが当事者意識をもって、道徳で学んだことを生かし、自分ごととして考え行動していけることを目指しています。



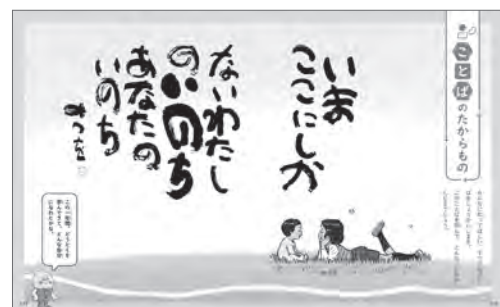
みんなで作る「わたしたちの未来」 (p.156～157)

# 4 子どもたちが豊かな生活を送るパートナーとなる教科書

いつでも手にとって繰り返し読める魅力的な教材を豊富にそなえるとともに、1時間ごとの学びをふり返り、児童が自身の変容や成長を実感できるようにしました。

## ① ことばのたからもの

児童に贈ることばとして相田みつをさんの書を掲載しました。1年間の道徳の学習をふり返るとともに、次の学年に向けてのエールとなるようにしました。



ことばのたからもの (p.178～179)

## ② 学びの足あと

児童が自らの学習状況を確認する手立てとして、自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。最初に「なりたい自分」を記述することで、目標をもって学習に取り組める工夫をしています。

積み重ねてきた記録を一覧できるので、これまでの自分を見つめ直したり、その時の気持ちや考えを思い起こしたりすることが可能です。

## 2 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所	
A 主として自分自身に関すること	9	ヒントまであと少し	生活文など児童に身近な場面で書かれた事例を取り上げ、よいことは進んで行い、悪いことは行わない自律の心を育てるようにしました。(第2号)	p.42 - 45
	31	思い切って言ったらどうなるの？		p.136 - 139
	6	千羽づる	うそやごまかしをしないことが、健やかな生活に結びつくことを実感できるようにしました。(第1号)	p.30 - 33
	11	この「元気」でいいのかな？		p.52 - 55
	25	太郎のいどう教室	自分を律し、安全に気をつけ、健やかな生活を送るために必要なことが実感できるように配慮しました。(第1・2号)	p.112 - 115
	36	早起きは三文の徳		p.158 - 161
	14	世界一うつくしい体操をめざして —内村航平—	自分のよさを発見し、そのよさを伸ばすことで、将来の夢やよりよく生きる喜びにつながるよう配慮しました。(第2号)	p.66 - 68
	32	紙の中の映画 —手塚治虫—		p.140 - 143
	15	ぼくらは小さなかにはかせ	苦手を得意に変え、目標に向かって努力することを意識させる話を通して、夢や目標をもって物事をやりとげる心を育てるようにしました。(第1号)	p.70 - 73
	26	ラーメンでえがおに —安藤百福—		p.116 - 119
B 主として人との関わりに関すること	3	わたしのしたこと	友だちや地域の人など、学校や普段の生活の中で接する多くの人を取り上げ、自分とは違う考えを理解し、思いやりの心をもって学校生活を送ることができる態度を育てるようにしました。(第2・3号)	p.16 - 18
	37	老人ホームのすずきさん		p.162 - 165
	17	ぼく知らなかったよ	働く人たちとその仕事を知ったり、お年寄りのもっている知恵や技術を教わったりする教材を通して、勤労を重んじる態度を養い、尊敬や感謝の気持ちを育てるようにしました。(第2号)	p.80 - 83
	28	おばあちゃんのおせち		p.124 - 127
	21	電話のおじぎ	礼儀を学び、その行為にある意味や込められた心を考えることで、進んで実践しようとする態度を養うようにしました。(第5号)	p.98 - 99
	29	マナーをまもるのはなぜ？		p.128 - 130
	1	友だち屋		p.10 - 13
	20	ないた赤おに	相手の立場や気持ちを考えることの大切さや、友だち関係のよさをえがいた教材を通して、よりよい人間関係を築くうえでの基礎となる、豊かな心を養えるようにしました。(第1号)	p.92 - 97
	33	赤い灯 ゆれる		p.144 - 147
	5	ドンマイ！ ドンマイ！	友だちの立場や気持ちを考えたうえで、自分の思いを伝え、互いを認め合う心育てられるようにしました。(第2・3号)	p.24 - 27
30	りつとにじのたね		p.132 - 135	
C 主として集団や社会との関わりに関すること	8	心の優先席		p.38 - 41
	19	こまるのはだれ？ これでもいいのかな？	学校や自分たちの身近にあるきまりを知り、それらが何のためにあるのか、自分たちに何ができるかを考えることで、よりよい社会生活を送るための基盤をつくる心を育てるようにしました。(第3号)	p.88 - 91
	38	やくそくだもん		p.166 - 169
	18	お日様の心で	だれに対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度を育てるようにしました。(第3号)	p.84 - 87
	12	はた・らく	「働く」という言葉に込められた意味とそのよさを知ることで、自らの役割を自覚して、進んで働く態度を育てるようにしました。(第2・3号)	p.56 - 59
	10	清作のおてつだい —野口英世—	家族や学校の友だちの姿を見つめることで、自分と関わる人を敬愛し、大切にすることを育てるようにしました。(第1号)	p.48 - 51
	27	おかあさん、かぜでねこむ —ちびまる子ちゃん—		p.120 - 123
	4	四人五脚	学校生活、集団生活を協力し合うことで、主体的によりよい社会生活を形成する態度を育てるようにしました。(第3号)	p.20 - 23
	13	キツネおどり	自分の住む町にあるものや、受け継がれている文化、日本人の心に触れることで、国や郷土の伝統と文化を知り、大切に受け継いでいこうとする態度を自覚するよう配慮しました。(第5号)	p.60 - 63
	39	こまったときは、おたがいさま		p.170 - 173
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること	22	いっしょに何しよ？	日本と外国とのつながりを知ることで、他国の人々に親しんだり、他国と積極的に関わったりしようとする気持ちが高まるように配慮しました。(第5号)	p.100 - 102
	35	海をわたるランドセル		p.152 - 155
	23	どうか、生きていてくれよ		p.104 - 107
	24	いのちのまつり	自他のつながりについて知ることや、生命の尊さへの理解を深めることで、かけがえのない生命を愛おしむ心を育てるよう配慮しました。(第4号)	p.108 - 111
	34	うみねことたんぼぼ		p.148 - 151
	40	命どうたから		p.174 - 177
	2	目をさますたね	自然の中にある不思議さに目を向けることで、自然と共に生きていることに気づき、自然を大切にすることを養うようにしました。(第1・3号)	p.14 - 15
全般	7	春の女神をまもる —ギフチョウ—		p.34 - 37
	16	花さき山	人の心などの美しいもの、気高いものに触れることで、豊かな情操を培うよう配慮しました。(第1号)	p.74 - 79
	巻頭	ゆたかな心	道徳の授業でどのような学習をしていくかを説明し、児童が自らの生活をふり返ることで課題をもって学習に取り組み、学んだことを生活に生かせるようにしました。(第1号)	p.2 - 9
	コラム	みんなでつくる「わたしたちの未来」	これからの時代を生きる児童にとって、幅広い知識と教養を身につけ、個人の価値を尊重し、男女の平等を目指し、自他の敬愛と協力を大切にするとともに、生命を尊び、自然を大切に、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう、SDGs についてのコラムを用意しました。(第1・2・3・4・5号)	p.156 - 157
巻末	ことばのたからもの	児童の学びの支えとして言葉のもつ力を知り、それが今後の学びに生きるものであることを実感できるようにしました。(第1号)	p.178 - 179	
巻末	まなびの足あと	授業の記録から学習の定着を図り、自己の成長をふり返ることができるように配慮しました。(第1号)	折り込み	

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-226	小学校	道徳	道徳	3
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
208光文	道徳317	小学どうとく ゆたかな心 3年		

## 1 編修上特に意を用いた点や特色

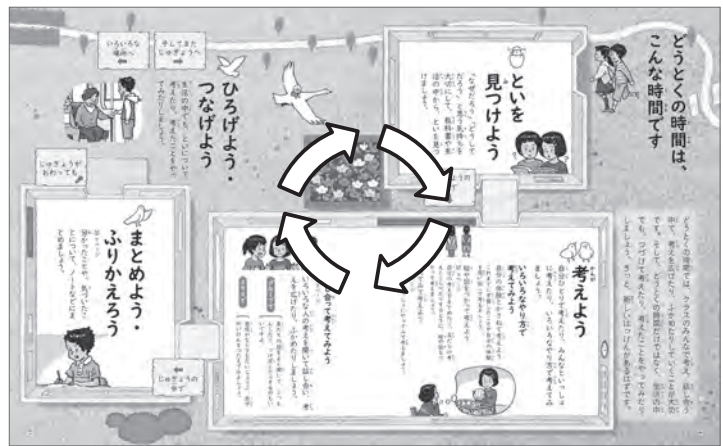
### 1 問いをもって主体的に考えられる学習展開・発問の工夫

#### ① 学習の流れを明示

巻頭のオリエンテーションでは「道徳の時間は、こんな時間です」(p.4～5)を配置しました。

道徳の学習が、他教科の学習や学校行事、日常生活などへつながり、また日常生活の中から問いを見つけ、道徳の学習へ返っていくというスパイラルを表しました。

どうとくの時間は、こんな時間です (p.4～5)



#### ② 問いをもち、主体的に考えられる学習展開・発問

各教材には、冒頭に「導入」、最後に「かんがえよう(展開)」「まどめよう(終末)」「ひろげよう(発展)」を設置し、1時間の授業のねらいや流れを明確にしました。

**【展開】**

共感や気づき、考えるためのポイントや考えを広げるための見方など、さまざまな「投げかけ」を行うことで、多様な感じ方や考え方を実感できるようにしました。多面的・多角的に考える発問など、児童の思考を促すよう考慮しました。

22 いっしょに何しよ? (p.100～102)

**【導入】**

主題に関わる問題意識をもたせたり、教材の内容に興味・関心をもたせたりすることで、学習への意欲を高め、目的意識をもって学習に取り組みました。

**【思考ツール】**

「いろいろなやり方で考えてみよう」(p.6～7)の中で、思考ツールを提示し、自分の考えを視覚化し、学習した内容をまとめ、自信をもって発言できるようにしました。

じゆんじよ立てて考える

分けて考える

**【終末】**

学習した内容をふり返るポイントを提示し、「考えたこと」「分かったこと」「学んだこと」や今後の課題について考えられるようにしました。導入で問題意識をもって学習に臨み、終末で学習内容をふり返ることによって、授業開始時と終了時における変容が実感できるようにしました。

**【発展】**

道徳の学習で学んだことが、他教科の学習や家庭生活、地域社会へとつながるように課題やポイントを提示しました。他教科との関連をもたせた指導を有効に行うことができるよう、学習時期も配慮した配列にしました。

## 2 これからを生きる児童に対応した現代的な課題

### ① 現代的な課題への対応

現代的な課題への対応については、特に重要なテーマとして、次の5つを重点的に取り扱っています。児童が自分ごととして考えられるような教材を精選して掲載しました。

#### 生命・自然

「生命の尊さ」については、人間尊重の精神を重んじ、生命に対する畏敬の念をもち、人間としてよりよく生きる喜びにつながるような教材を選定しました。また、「自然」については、動植物や自然を大切に、積極的に環境保全に寄与する態度につながる教材を選定しました。



7 春の女神をまもるーギフチョウー (p.34~37)

生命の尊重 自然 環境 SDGs

#### いじめ・情報モラル

「いじめ」については、児童にとって喫緊の問題であるにとらえ、各内容項目の教材において、直接的・間接的に考えられる教材を選定しました。また、「情報モラル」については、情報社会で適切な活動を行うためのものとなる考え方や態度を養える教材を選定しました。



9 ヒントまであと少し (p.42~45)

いじめ 情報モラル 知的財産に関する教育

#### 人権・共生

さまざまな違いがある人々が、互いの多様性を認め合いながら共に生きる社会について、実感をもって考えられる教材を選定しました。



30 りつとにじのたね (p.132~135)

人権 平和 障がい共生  
多文化共生 LGBTQ

#### 安全・健康

自他の安全に配慮した行動をとったり、自ら危険な環境を改善したり、健康で福祉的な生活が送れるような意欲や態度につながる教材を選定しました。



11 この「元気」でいいのかな? (p.52~55)

安全防災 食育 健康  
世界的危機管理

#### レジリエンス

急速な社会の変化の中で、一人ひとりの児童が自分のよさや可能性を認識し、自己肯定感を高めることの重要性を鑑み、全学年にレジリエンスコラムを設け、児童が自身の「心の力」について考えられるように工夫しました。

児童が自身のもつ「心の力」に気づく活動を通して、児童の生きる力を育み、よりよい人間関係の構築につながるようにしています。

1年	じぶんの よい ところを みつけよう	p.116~117
2年	元気 しなやか へこたれない	p.104~105
3年	「強み」を見つけよう	p.69
4年	「心の力」を育てよう	p.127
5年	立ち直り曲線	p.148
6年	レジリエンスーへこんでも立ち直る心の力ー	p.88

# 3 「考え・議論する」 ことにつながる魅力的な教材

## ① 多様な教材

学級や学校生活など、児童が自分のこととして考えやすい題材や、長く読み継がれてきた名作、人物の苦悩や努力など生き方から考える事実教材など、人間としての生き方に迫ることができる題材を選定しました。また、漫画形式や写真、一枚絵から考える教材など、多様な教材形式を取り入れています。

さらに、学校や地域の実態などに応じて弾力的に取り扱えるように、第1学年は6本、第2学年から第6学年は5本の選択教材を用意しました。



1 友だち屋 (p.10～13)



26 ラーメンでえがおに 一安藤百福ー (p.116～119)



29 マナーをまもるのはなぜ？ (p.128～130)



32 紙の中の映画 一手塚治虫ー (p.140～143)

地域に根づく伝統や文化、行事、先人など、児童にとって身近なものを題材とした教材を取り入れ、伝統と文化を尊重し、国や郷土を愛する態度を養うことにつながるよう配慮しました。特定の地域が題材になった教材であっても、どの地域においても活用できるよう、汎用性をもたせた構成となっています。

## ② 効果的に活用できるデジタルコンテンツ

授業の導入や展開に活用できるオリジナル写真やインタビュー動画、教材に関連する動画や写真、ウェブサイトを、二次元コードを通して見られるようにしました。学習内容に広がりをもたせ、より深く理解できるように配慮しました。

【コンテンツの例】

p.34	春の女神をまもる ーギフチョウー	動画
p.66	世界一うつくしい体操をめざして ー内村航平ー	動画
p.116	ラーメンでえがおに ー安藤百福ー	写真
p.128	マナーをまもるのはなぜ？	資料
p.152	海をわたるランドセル	動画



14 世界一うつくしい体操をめざして ー内村航平ー (p.66)



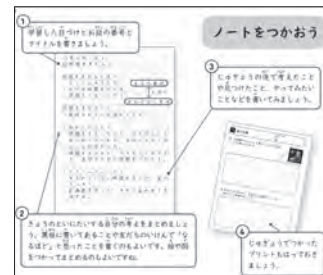
# 4 児童の成長につながる評価とノート活用の提案

## ① 児童の成長につながる評価

児童が自身で学習後の振り返りができるように、巻末に自己評価シート「学びの足あと」を用意しました。授業後の心の動きや学びを継続して記しておくことで、自らの成長を実感し、新たな課題や目標を見つけて学習に取り組めるように配慮しました。児童の自己評価の記録を通して、教師が長期的に児童の成長を見取することもできます。



オリエンテーションの「まとめよう・ふりかえろう」(p.9)では、ノートの使い方を紹介しています。自分の考えをまとめることや、授業内の心の動きを記し、児童の変化を記録できるようにしています。教師は児童の記述を通して、授業の改善につなげることができます。



# 5 すべての児童が使いやすい教科書

## 手に取りやすいAB判を採用

児童の負担感の軽減のため、AB判を採用し、軽量化を図りました。

## ジェンダー・セクシュアリティへの配慮

すべての児童が自己肯定感をもって学習や生活を創造していけるよう、登場人物の男女比やイラストの配色などを配慮しました。

## ユニバーサルデザイン

図版やグラフ等の配色は、専門家の目を通し、カラーユニバーサルデザインに配慮しました。

本文や吹き出し、ルビなどに、見やすく、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用し、デジタル教科書でも読みやすい書体を採用しました。また、児童の読み取りに差異が生じないように第3学年まではすべての漢字にふり仮名をつけました。第4学年からは、当該学年以上の漢字には、ふり仮名をつけています。

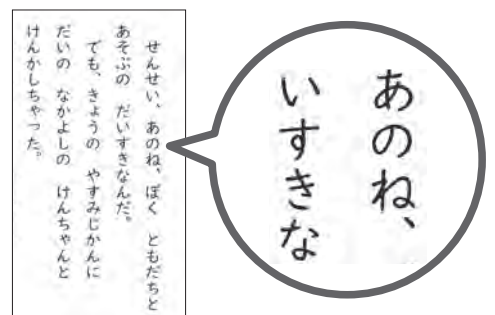
## 大きな写真やイラスト

写真やイラストが引き立つようにレイアウトし、児童の興味・関心や思考が深まるようにしました。

## 造本上の工夫

表紙・本文には、環境に配慮し、見やすくなるよう目に優しい色合いと不透明度を向上した紙を使用しました。また、印刷には、植物油インキを使用しました。

製本には針金を使用せず、表紙が丈夫で汚れにくくなるよう加工し、堅牢性も保ちながら環境にも配慮しました。



## 2 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		該当箇所	配当時数
		主たる内容項目	関連性のある内容項目		
巻頭	ゆたかな心	すべて		p.2 - 9	★
1	友だち屋	B 友情、信頼	C 公正、公平、社会正義	p.10 - 13	1
2	目をさますたね	D 自然愛護	D 感謝、畏敬の念	p.14 - 15	1
3	わたしのこと	B 親切、思いやり	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.16 - 18	1
扉	自分の力、みんなの力		C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.19	★
4	四人五脚	C よりよい学校生活、集団生活の充実	B 友情、信頼	p.20 - 23	1
5	ドンマイ！ ドンマイ！	B 相互理解、寛容	B 友情、信頼	p.24 - 27	1
コラム	ことばのキャッチボール		B 相互理解、寛容	p.28 - 29	★
6	千羽づる	A 正直、誠実	B 親切、思いやり	p.30 - 33	1
7	春の女神をまもる - ギフチョウ -	D 自然愛護	D 生命の尊さ	p.34 - 37	1
8	心の優先席	C 規則の尊重	B 親切、思いやり	p.38 - 41	1
9	ヒントまであと少し	B 善悪の判断、自律、自由と責任	B 友情、信頼	p.42 - 45	1
コラム	インターネットのじょうほうはかならず正しいの？		A 節度、節制	p.46 - 47	★
10	清作のおてつだい - 野口英世 -	C 家族愛、家庭生活の充実	B 感謝	p.48 - 51	1
11	この「元気」でいいのかな？	A 節度、節制	C 家族愛、家庭生活の充実	p.52 - 55	1
12	はた・らく	C 勤労、公共の精神	C 家族愛、家庭生活の充実	p.56 - 59	1
13	キツネおどり	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	A 希望と勇気、努力と強い意志	p.60 - 63	1
コラム	かこから今、そして未来へ		C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	p.64 - 65	★
14	世界一うつくしい体操をめざして - 内村航平 -	A 個性の伸長	B 希望と勇気、努力と強い意志	p.66 - 68	1
コラム	「強み」をみつけよう		A 個性の伸長	p.69	★
15	ぼくらは小さななかにはかせ	A 希望と勇気、努力と強い意志	B 友情、信頼	p.70 - 73	1
16	花さき山	D 感動、畏敬の念	A 正直、誠実	p.74 - 79	1
17	ぼく知らなかったよ	B 感謝	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.80 - 83	1
18	お日様の心で	C 公正、公平、社会正義	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.84 - 87	1
19	こまるのはだれ？ これでもいいのかな？	C 規則の尊重	C よりよい学校生活、集団生活の充実	p.88 - 91	1
20	ないた赤おに	B 友情、信頼	B 相互理解、寛容	p.92 - 97	1
21	電話のおじぎ	B 礼儀	B 親切、思いやり	p.98 - 99	1
22	いっしょに何しよ？	C 国際理解、国際親善	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	p.100 - 102	1
扉	自分のいのちはだれとつながっている？		D 生命の尊さ	p.103	★
23	どうか、生きていてくれよ	D 生命の尊さ	B 感謝	p.104 - 107	1
24	いのちのまつり	D 生命の尊さ	C 家族愛、家庭生活の充実	p.108 - 111	1
25	太郎のいどう教室	A 節度、節制	A 善悪の判断、自律、自由と責任	p.112 - 115	1
26	ラーメンでえがおに - 安藤百福 -	A 希望と勇気、努力と強い意志	C 勤労、公共の精神	p.116 - 119	1
27	おかあさん、かせでねこむ - ちびまる子ちゃん -	C 家族愛、家庭生活の充実	B 感謝	p.120 - 123	1
28	おばあちゃんのおせち	B 感謝	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	p.124 - 127	1
29	マナーをまもるのはなぜ？	B 礼儀	B 親切、思いやり	p.128 - 130	1
扉	分かり合うってどんなこと？		B 相互理解、寛容	p.131	★
30	りつとにじのたね	B 相互理解、寛容	C 公正、公平、社会正義	p.132 - 135	1
31	思い切って言ったらどうなるの？	A 善悪の判断、自律、自由と責任	B 友情、信頼	p.136 - 139	1
32	紙の中の映画 - 手塚治虫 -	A 個性の伸長	A 希望と勇気、努力と強い意志	p.140 - 143	1
33	赤い灯 ゆれる	B 友情、信頼	B 親切、思いやり	p.144 - 147	1
34	うみねことたんぼぼ	D 生命の尊さ	D 自然愛護	p.148 - 151	1
35	海をわたるランドセル	C 国際理解、国際親善	C 勤労、公共の精神	p.152 - 155	1
コラム	みんなでつくる「わたしたちの未来」	すべて		p.156 - 157	★
36	早起きは三文の徳	A 節度、節制	C 規則の尊重	p.158 - 161	★
37	老人ホームのすずきさん	B 親切、思いやり	B 感謝	p.162 - 165	★
38	やくそくだもん	C 規則の尊重	A 希望と勇気、努力と強い意志	p.166 - 169	★
39	こまったときは、おたがいさま	C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	B 親切、思いやり	p.170 - 173	★
40	命どうたから	D 生命の尊さ	C 家族愛、家庭生活の充実	p.174 - 177	★
巻末	ことばのたからもの	すべて		p.178 - 179	★
				合計時数	35

配当時数が★印の教材は、適宜扱う。